

県農業大学校の現地体験実習が始まりました

令和3年度 長野県農業大学校農学部総合農学科農業経営コース1年生の「現地体験実習」が6月25日から始まり、佐久合同庁舎において受入式を行いました。

佐久地域で実習を行うのは、野菜専攻8名、作物専攻2名の計10名で、農業経営者協会南佐久、北佐久支部会員、農業士協会北佐久支部会員宅で計43日間、農作業と農家生活を体験します。

10名のうち農家子弟は1名で、他の9名は非農家で県外の出身者です。実習に当たっての抱負や将来構想の中で、「農業法人での就業を経て独立をしたい」、「長野県の農業関連の仕事につきたい」などと述べていました。

今回は6月25日から7月2日までの8日間ですが、第2回目は8月24日から9月27日までの35日間で行われる予定です。

家族以外に外国人の実習生や、アルバイトの方々など多くのスタッフがいる農家もあり、様々な体験をして成長して欲しいと思います。



受入式の様子